

令和3年度

図書館評価 (目標)

和歌山県立図書館

図書館評価 実施要項

1 図書館評価の趣旨

和歌山県立図書館は、運営の改善と図書館サービスの向上等を図るために、図書館法第7条の3に基づき、図書館評価を行う。

【参考 図書館法抜粋】

(運営の状況に関する評価等)
第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るための必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 図書館評価の構成と方法

(1) 評価の項目及び指標等

評価項目	指標項目数
1 読書活動の推進に関して	7
2 市町村立図書館等への支援に関して	2
3 サービスの充実に関して(情報の提供等含む)	8
4 資料の収集及び保存に関して	2
5 文化情報センターに関して	6
計	25

<参考>

地域等への貢献状況の紹介	11
--------------	----

(2) 指標項目の評価等

① 数値目標の設定等

前年度まで(過去3年間程度)の実績、本年度の施策及び取組等を勘案して、各指標毎に、当該年度の数値目標の設定を行うとともに、改善方策を含めた取組を定める。

② 評価方法

評価は、当該年度の実績と目標値をもとに、下記に示す「指標項目の評価基準」で客観的に行う。

③ 指標項目の評価基準

評価	達成状況
A(達成)	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方を超過している。
B(ほぼ達成)	当該年度実績が前年度実績、又は、当該年度目標のどちらかを超過している。
C(達成できていない)	当該年度実績が前年度実績と当該年度目標の両方に達していない。

(4) 評価項目の評価等

① 評価方法

評価項目内の指標項目の評価をもとに、下記に示す「評価項目の評価基準」で客観的に行う。

② 評価項目の評価基準

評価	達成状況
達成	A及びBの割合が100%(Aの割合が2/3以上)
ほぼ達成	A及びBの割合が80%以上(Aの割合が1/3以上)
概ね達成	A及びBの割合が60%以上
達成できていない	A及びBの割合が60%未満

3 図書館評価の公表等

公表については、下記の手順で、ホームページ等で行う。

(1) 当該年度の目標値等を設定した時点で第1回目(目標)の公表を行う。

(2) 次年度当初に、当該年度実績値をもとに評価・検証等を行い、改善策及び次年度の取組等を検討し、第2回目(結果)の公表を行う。

令和3年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	<参考> 過去3年間の状況			R3年度の目標		R3年度の状況		R3年度目標達成率(%) (C/B)	評価
		H30年度実績値	R元年度実績値	R2年度実績値	R3年度目標値	R2年度実績値に対する比率(%)	R3年度実績値	R2年度実績値に対する比率(%)		
				(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/A)		
1 読書活動の推進に関して										
①	お話し会参加人数	1,763	1,775	372	500	134.4%				
	(本館)	1,124	995	55	250	454.5%				
	(紀南)	639	780	317	250	78.9%				
②	図書館ウォッチング参加人数	479	472	170	200	117.6%				
③	手づくり紙芝居コンクール応募点数	47	37	22	25	113.6%				
④	ビブリオバトルの参加人数	1,116	1,154	792	800	101.0%				
⑤	POPコンクールの参加人数	632	573	655	660	100.8%				
⑥	学校への支援(資料貸出冊数)	19,766	17,768	16,706	14,000	83.8%				
	(本館)	14,848	14,966	12,828	11,000	85.7%				
	(紀南)	4,918	2,802	3,878	3,000	77.4%				
⑦	学校への支援(出張講座回数)	43	33	7	14	200.0%				
	(本館)	25	20	3	10	333.3%				
	(紀南)	18	13	4	4	100.0%				
※ ④ビブリオバトルの参加人数、⑤POPコンクールの参加人数は、「中高生読書まつり」として実施										
【現状】										
<ul style="list-style-type: none"> ・【本館】ボランティアによるお話し会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止の状態が続いていたため参加人数が減少。[①] ・【紀南】お話し会は人数制限等の予防対策を講じて実施。[①] ・手づくり紙芝居コンクールは、作品の応募が減少傾向にある。[③] ・コロナウイルス拡大防止の措置により、ビブリオバトル参加人数が減少した。[④] ・コロナウイルス拡大防止の措置により、学校からの出張講座要望がほとんどなくなり件数は激減した。[⑦] 										
【目標達成のための改善点及び取組等】										
<ul style="list-style-type: none"> ・お話し会は人数を制限して順次再開しており、今後も感染症対策に配慮した上で実施していく。[①] ・手づくり紙芝居コンクールについては、過去の受賞作の展示や、学校等へ紙芝居の作り方講習の出張講座利用を積極的に広報するなど、紙芝居に関心をもってもらえる取り組みに努め、コンクール応募点数及び当日観覧者の増加を目指す。[③] ・【紀南】学校への支援について現状を維持しつつ、本館と連携しながら支援を行っていく。[⑥、⑦] 										
【全体評価】 《 》										
○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】										
○課題及び改善点										

令和3年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況		R3年度の目標		R3年度の状況		R3年度目標達成率(%) (C/B)	評価	
		H30年度実績値	R元年度実績値	R2年度実績値	R3年度目標値	R2年度実績値に対する比率(%)	R3年度実績値			R2年度実績値に対する比率(%)
				(A)	(B)	(B/A)	(C)			(C/A)
2 市町村立図書館等への支援に関して										
① 貸出冊数		21,661	22,013	19,572	19,900	101.7%				
(本館)		15,129	15,089	12,543	12,900	102.8%				
(紀南)		6,532	6,924	7,029	7,000	99.6%				
・図書館・図書室		15,013	14,461	13,949	14,950	107.2%				
(本館)		12,560	11,521	10,590	11,950	112.8%				
(紀南)		2,453	2,940	3,359	3,000	89.3%				
・その他団体		6,648	7,552	5,623	5,600	99.6%				
(本館)		2,569	3,568	1,953	1,900	97.3%				
(紀南)		4,079	3,984	3,670	3,700	100.8%				
② 市町村に対する支援件数		45	37	22	22	100.0%				
(本館)		20	19	12	12	100.0%				
(紀南)		25	18	10	10	100.0%				
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本館】貸出冊数は団体貸出、協力貸出ともに減少した。[①] ・【紀南】貸出冊数が増加、協力貸出は増加したが、団体貸出は減少した。[①] ・【本館】コロナウイルス拡大防止の措置により、市町村支援件数が減少した。[②] ・【紀南】市町村訪問の減少に伴い支援件数が減少した。[②] 										
<p>【目標達成のための改善点及び取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用の少ない市町村を対象に、個別に担当者に説明を行う等、制度利用の促進を行う。[①] ・団体貸出は担当者の異動等により利用されなくなる場合があるため、継続的な利用促進に努める。[①] ・コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、安心して参加できる行事の開催に努める。[②] ・市町村支援については、引き続き、それぞれの市町村の実態に合った支援を行っていく。[②] 										
<p>【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】</p>										
○課題及び改善点										

令和3年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況								R3年度 目標値 (B)	R3年度の状況		R3年度 目標 達成率(%) (C/B)	評価
		過去3年間の状況			R3年度の目標		R3年度の状況							
		H30年度 実績値	R元年度 実績値	R2年度 実績値 (A)	R3年度 目標値 (B)	R2年度 実績値に 対する 比率(%) (B/A)	R3年度 実績値 (C)	R2年度 実績値に 対する 比率(%) (C/A)						
4 資料の収集及び保存に関して														
①	蔵書冊数	1,031,084	1,049,197	1,063,719	1,078,863	101.4%								
	(本館)	794,733	810,378	825,903	838,863	101.6%								
	(紀南)	236,351	238,819	237,816	240,000	100.9%								
②	特色ある資料の状況	240,919	246,025	250,355	255,417	102.0%								
	・郷土資料冊数	92,031	93,505	94,744	96,087	101.4%								
	(本館)	71,988	73,096	73,987	74,987	101.4%								
	(紀南)	20,043	20,409	20,757	21,100	101.7%								
	・児童書	148,888	152,520	155,611	159,330	102.4%								
	(本館)	92,140	94,737	97,330	99,830	102.6%								
	(紀南)	56,748	57,783	58,281	59,500	102.1%								
	【現状】 ・蔵書冊数は全国19位(令和3年3月31日現在)[①] ・【本館】郷土資料や児童書の収集に努めたが、目標値を上回ることはできなかった。[②]													
	【目標達成のための改善点及び取組等】 ・【本館】基本資料は県民の課題解決に役立つ資料を収集し、郷土資料(和歌山県に関する資料)は網羅的に収集する。 ・【本館】「人権」「仕事」「防災」「がん」「認知症」「子育て」関連資料は重点的に収集し、時事問題に関する資料も収集する。 ・【本館】児童資料は、調べ学習や大型絵本、シリーズ本、良質な絵本や児童書やヤングアダルト(中高生)資料を収集する。 ・【本館】書庫の収容能力を考慮し、厳選して選書していく。													
	【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】													
	○課題及び改善点													

令和3年度 図書館評価シート(目標)

和歌山県立図書館

評価項目	指標項目	＜参考＞ 過去3年間の状況		R3年度の目標		R3年度の状況		R3年度目標達成率(%) (C/B)	評価	
		H30年度実績値	R元年度実績値	R2年度実績値	R3年度目標値	R2年度実績値に対する比率(%)	R3年度実績値			R2年度実績値に対する比率(%)
				(A)	(B)	(B/A)	(C)			(C/A)
5 文化情報センターに関して										
① 入館者数		69,009 (23,202)	66,125 (22,774)	32,431 (5,826)	53,000 (7,500)	163.4%				
② 視聴覚資料の利用件数		6,589	8,135	4,267	4,710	110.4%				
	(DVD・ビデオ)	3,840 (3,740)	5,494 (5,423)	2,527 (2,531)	3,090 (3,080)	122.3%				
	(CD)	2,749 (1,538)	2,641 (1,585)	1,740 (1,002)	1,620 (950)	93.1%				
③ 体験教室等への参加人数		17,082	14,735	3,423	12,000	350.6%				
④ 県民カレッジの登録講座数		1,295	1,166	988	1,150	116.4%				
⑤ 県民カレッジの登録者数		6,555	6,671	6,714	6,800	101.3%				
⑥ 施設の利用件数		267	251	119	135	113.4%				
	(メディア・アート・ホール)	158	146	50	95	190.0%				
	(講義・研修室)	109	105	69	40	58.0%				
<p>※ ①入館者数の()はメディア・アート・ホール及び講義・研修室の利用者数 ②視聴覚資料の利用件数の()は、利用人数</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 館内空調工事及びメディア・アート・ホール音響改修工事に加えて新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用が全体的に大幅減少した。[①、②、③、④、⑤、⑥] きのくに県民カレッジについては、登録者数は増加したが、新型コロナ感染症の影響で講座数が減少した。[④、⑤] <p>【目標達成のための改善点及び取組等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館者数の増加を図るため、引き続き、メディア・アート・ホールと講義・研修室の広報に継続的に努める。[①、⑥] 遊ing等体験教室の内容充実を図り、参加人数増加に努める。[③] 視聴覚資料の利用件数の増加を図るために、利用者からリクエストを取るなどニーズの把握に努め、所蔵の充実を図る。[②] きのくに県民カレッジについては、引き続き各市町村の新規講座の登録数及び登録者数の増加を図るよう広報等啓発活動に努める。[④、⑤] <p>【全体評価】 《 》 ○達成状況等 【A(%) B(%) C(%)】</p> <p>○課題及び改善点</p>										